

大藪教育について

【久世3校の共通目標】

「自分で考え、行動する子ども」

- めざす子ども像
- (1) 「元気にあいさつする子」
 - (2) 「たくさん読書をする子」
 - (3) 「自分で家庭学習をがんばる子」



【学校教育目標】

『仲間意識をもち、自ら学び、考え、行動する子どもの育成』

【めざす学校像】

『小中9年間の学びと育ちのつながりを大切にし、保護者や地域の人々に信頼される学校』

【めざす子ども像】

- 深く考える子
 - ・学習準備ができ、意欲的に考え学ぶ子
 - ・しっかり話を聴き、しっかり話せる子
 - ・困った時にどうすればよいかを考え、実践できる子
 - ・TPOに応じた挨拶や話し方ができる子
 - ・生活面や学習面において、自らをふり返ることができる子
- なかよく助け合う子
 - ・友達の良いところを認め、自分も大切にすることができる子
 - ・言葉を大切にできる子
 - ・想像力を働かせることができる子
- 元気でがんばる子
 - ・自分で自分の命を守ることができる子
 - ・進んで体と心をきたえる子
 - ・粘り強く取り組むことができる子
 - ・進んで働く子
 - ・整理整頓ができる子

【めざす教職員像】

* 「めあて」「徹底」「振り返り」を大切に

- ・学び続ける教職員
- ・相手の心に寄り添える教職員
- ・冷静かつ迅速に対応する教職員
- ・メリハリがあり、「褒める」「叱る」のバランス感覚のある教職員

【久世3校の共通目標】

- 「自分で考え、行動する子ども」
めざす子ども像
- (1) 「元気にあいさつする子」
 - (2) 「たくさん読書をする子」
 - (3) 「自分で家庭学習をがんばる子」

【京都市の学校教育の重点】

- ・「主体性」と「社会性」
- ・「自ら学ぶ力」と「自ら律する力」
- ・カリキュラムマネジメントの視点
- ・組織的、計画的に教育活動の質を向上
- ・

学校教育目標

仲間意識をもち、自ら学び、考え、行動する子どもの育成

深く考える子
(確かな学力)

なかよく助け合う子
(豊かな心)

元気でがんばる子
(元気な体)

生徒指導目標

～規範意識を育てる～

研究目標

～言葉の力を育てる～

人権教育目標

～自尊感情を育てる～

学力向上タイムの充実 (算数を核に)

各教科等でつける言葉の力

読書を通して育む言葉の力

国語科の中で育む言葉の力

日常生活の中につける言葉の力

行事 放送
集会活動
大藪タイム

総合的な学習
道徳
外国語活動

- ・ 100冊, 5000ページ
- ・ ふれあいセンター図書館との連携
- ・ 親子読書

若手教員の育成 (樟会)

言語環境の整備

- ・ 日常会話 (挨拶, 敬語)
- ・ 教室, 廊下等の掲示

キーワードは「つながり」

支持的風土を持った学習集団 チーム大藪